**膠文化研究会第8回公開研究会「なぜ膠なのか」**

明治期の近代化や戦後美術の洗礼を受けながらも日本画の絵画材料、文化財の修理材料として使われ続けた膠。今後も膠は継承されてゆくのでしょうか。日本画材料を扱う画材店を営みながら材料研究に取り組む上田邦介氏、膠製造の危機に文化財研究者として行動を起こした山内章氏、美術史の視点から東京藝術大学大学美術館の古田亮氏にお話いただきます。

主　催：膠文化研究会

後　援：文化財保存修復学会、国宝修理装潢師連盟

日　時：12月5日（土）午後1時より

会　場：東京藝術大学美術学部　中央棟第1講義室

定　員：先着100名

参加料：3,000円

懇親会費：一般3.500円（事前払込み3,000円）、学生2.000円

**プログラム**：

12：30　開場・受付開始

司　　会：北田 克己　愛知県立芸術大学美術学部教授

13：00-13：10 開会挨拶：半田 昌規　国宝修理装潢師連盟理事

13：10-13：50「膠＆煮皮」

上田 邦介　絵具屋三吉・ウエマツ社長

13：50-14：30「研究会『膠って何？』から９年過ぎて」

山内 章　天野山文化遺産研究所代表

14：30-15：10「近代日本画における表現と膠」

古田 亮　東京藝術大学大学美術館准教授

15：10-15：40　休憩

15：40-16：15　質疑応答　座長：荒井 経　東京藝術大学大学院美術研究科准教授

16：15~16：25　膠研からのお知らせ 　-リーフレット発行について-

宇髙 健太郎　日本学術振興会特別研究員（東京文化財研究所）

16： 25〜16： 35　閉会挨拶：斎藤 典彦　東京藝術大学美術学部教授

17： 00〜19： 00　懇親会

会　場：東京藝術大学大学会館大食堂（キャッスル）　音楽学部内

* プログラムは変更になる場合があります。

**参加申込み：**

事前受付制です。

膠文化研究会公式サイトから参加応募様式をダウンロード、必要事項を記入の上、事務局　[nikawalabs@gmail.com](mailto:nikawalabs@gmail.com)　宛メールに添付してお送りください。

受付後、参加受付確認メールをお送りします。

受付期間：11月12日（木）〜11月27日（金）

参加証発行開始：　11月23日（月）

懇親会費事前払込期限： 　11月30日（月）

**申込み、問い合わせ先：**

問い合わせはメールでお願いします。

膠文化研究会事務局

東京芸術大学日本画研究室内

110-8714　東京都台東区上野公園12-8

メール：　nikawalabs@gmail.com

電　話：　050-5525-2135（斉藤）

膠文化研究会公式サイト　http://nikawalabs.com/index/

膠研フェースブックページ　<http://www.facebook.com/NikawaLabs>